

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ゼロカーボン長野プログラム
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人CO2バンク推進機構 (長野市稲里町中央三丁目33番23号)
事業区分	(5)環境保全、景観形成
事業タイプ	(1)地域協働の推進
総事業費	2,681,163円 (うち支援金: 2,066,000円)

事業内容

ゼロカーボン社会の構築および地球温暖化防止活動の普及啓発のため、3つのプログラムを実施。

- ①グリーンインフラ体験活動
 - ・7月17日～8月9日までの24日間
 - ・長野駅善光寺口駅前広場で緑化スペースを設置
- ②リサイクルラボ
 - ・7月23日～7月26日までの4日間
 - ・長野市リサイクルプラザでワークショップを開催
- ③ゼロカーボンさみっと2021
 - ・9月18日～19日の2日間
 - ・エムウェーブ
 - ・屋内外の展示や自作エコカーの燃費計測会を開催



【グリーンインフラ体験コーナーの様子】

【目標・ねらい】

- ①関係団体等の連携
- ②ゼロカーボンの普及啓発
- ③新たなムーブメントの醸成
- ④一人一人が実践できる活動提案

事業効果

- ①長野駅前広場で緑化スペースを開放することで、駅利用者、来訪者にグリーンインフラを知ってもらう機会となった。芝生にすることで表面温度が1.2℃下がる効果が実証できた。
- ②親子参加でのワークショップを通じて、楽しみながらゼロカーボンへの理解を深める機会となった。クイズなどを取り入れ、幅広い年齢層への浸透を図ることができた。
- ③小学生・中学生とご家族など幅広い年齢層への情報提供ができた。ライブ配信、収録配信を取り入れたWEBの活用で事業効果を増大できた。

※自己評価【A】

- 【理由】
- ・会期を3回、3会場に分散して波及効果を高めた。
 - ・1,185人の参加者があったほか、長野駅前やweb等で不特定多数の市民に訴求できた。

今後の取り組み

ゼロカーボン社会の構築および地球温暖化防止活動の普及啓発のため、都市緑化、リサイクル、省エネ・再エネのテーマごとに3つのプログラムを実施することができた。引き続きこのプログラムの内容を充実させることで、ゼロカーボン社会に向けた普及啓発活動の発展が期待できる。

また、所期の目的であった行政機関や関係団体、企業、市民有志などさまざまな主体との連携の機会となったことから、今後もこうしたネットワークを継続、拡大していきたい。

さらに、イベントの成果をWEBで発信することにより、効果をより高めることが実感できたことから、本地域におけるゼロカーボンに関する情報のプラットフォームをめざしたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	白鳥園協働の公園づくりプロジェクト3
事業主体 (連絡先)	白鳥園協働の公園づくり実行委員会 026-274-1971
事業区分	⑤環境保全、景観形成に関する事業 ⑧その他地域の元 気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,088,823 円 (うち支援金: 1,508,000 円)

事業内容

- 花と緑の担い手づくり園芸教室
1年を通して園芸教室を開催した。令和3年度の園芸教室は、花苗の里親制度やバラやマツなどの手入れ方法などの参加者単独でも作業できるよう更なる技術向上を図った。
- 花と緑の回遊づくり
日本庭園を復活手入れ、みんなで森づくりなどを実施し、公園の基盤となる植樹(花と緑の回廊)づくりを行った。
- 公園活用実験イベント
市民がいつでも活用できる公園として実験イベントを企画したが新型コロナの影響をうけ中止となった。
- 協働の公園づくり研究会
本事業の企画運営を図るとともに、将来の公園整備に必要な継続的な管理体制づくり、技術的支援について検討した。



【春の花壇手入れ】

【目標・ねらい】

- ①身近な緑(森)をつくり守る活動、身近な緑の大切さを次世代に伝える場所
- ②花と緑を通した市民(団体)交流の場、花種等の育成及び交換場所
- ③情報交換などができる市民活動の拠点づくり
- ④市民を巻き込み、緑化活動の仲間づくりを進め、将来の公園管理体制の確立

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

「花と緑の担い手づくり園芸教室」事業は、ガーデンサポーターを中心に常に20~30人が参加し、計14回の教室・作業を実施し、延べ人数約350人となった。

参加者に里親になっていただく循環型の「花苗の里親」手法は2年目になる。参加者の技術も向上し、苗を上手に生育させることができ、花壇に植え替えてからも各花きは綺麗な花を咲かせることができた。

また、今回は花壇づくり用として草刈り機、灌水ホース、一輪車、クワなど基本的な管理用具を揃えることができたことにより、植え付けや草刈りなど手間と時間を省くことができ、さらに、広場周りの美観も向上した。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

「花苗の里親」手法はさし芽、種まきの技術をさらにスキルアップし、花壇用の苗代のコストを抑えながら、白鳥園及び市中に花や緑を広げたいと考えている。

千曲市では、本事業の活動が認め、令和5年度以降に芝生広場の拡張整備を計画している。今後も樹木や花壇の管理は常に必要なことから、千曲市と本実行委員会が一体となり市民を巻き込む交流事業などを展開しながら管理を行っていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

- 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
- 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

※自己評価 【 A 】

【理由】

- ・園芸教室を通してガーデンサポーターの技術力が向上、花苗の里親制度も順調に定着してきている。
- ・植栽や芝生などの定期的な手入れが出来るようになり、公園としての修景効果と居心地が向上してきている

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ゼロカーボンチャレンジ by 戸倉上山田ⅢITプロジェクト
事業主体 (連絡先)	戸倉上山田商工会 (千曲市戸倉 1750)
事業区分	(5) 環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,258,884 円 (うち支援金: 892,000 円)

事業内容

産業界から二酸化炭素の排出量を抑制し、その活動を地域住民にも波及させて、ゼロカーボン地域社会の実現を目指す事業を戸倉上山田商工会工業部会の会員が実施。

- ・各企業によるゼロカーボンへの取り組み 12社
研修会の開催: 7/8 7/14 9/15 延べ45名出席
- ・走行しながら充電できるようにEV1号車の改良
1回の充電の走行距離 7km→13km
- ・イベント開催: 10/31 圓山荘の駐車場 延べ250名
発電体験コーナーやEV車試乗会、飲食コーナー等々



【改良後のEV1号車】

事業効果

ゼロカーボンへの取り組みは、実感できるほどの効果を得ることができなかつたが、ゼロカーボンシティの実現、SDGsの目標達成に向け、第一歩を踏み出すことができた。今回、取組をした企業からは、大手取引先からゼロカーボンへの取組について求められ、今回の内容をまとめたパンフレットを提示したところ、早い返事で、信用に繋がったとの声があった。今現在、SDGsやゼロカーボンへの取組は急務であり、それを工業部会が率先して取り組むことで、各企業の行動する理由となり、またそれが、取引先にも取り組んでいることの証となり、そして、地域社会のためにできる社会的責任を果たすための行動となった。

またEV1号車を改良し、イベントで見て乗って楽しむことで、体感して環境を考えるきっかけにつながった。

【目標・ねらい】

- ①ゼロカーボンへの取組を加速
- ②EV1号車の改良でよりゼロカーボンに近づける
- ③イベント開催により地域住民のゼロカーボンへの啓発

※自己評価【 A 】

【理由】

- ・ゼロカーボンへの取組の動機付けが取組企業以外にもできた。
- ・EV1号車への試乗が環境問題を考える機会となった。
- ・イベント参加者が延べ250名で、地域住民に啓発できた。

今後の取り組み

ゼロカーボンチャレンジとして商工会が動機付けをし、各企業が取り組み、その数を増やすことで、地域で二酸化炭素の排出抑制を目指すことができる。そして従業員や近隣住民の方がこの活動に興味をもち、環境について考える機会を創出できるので、本事業の効果はとても高く、さらなる展開をしていきたい。例えば、千曲市と協議し、ゼロカーボン取組認証制度(仮)を設けるなど、官民が協力して、強力に推進を図ることや、製造業界のゼロカーボンだけでなくフードロス等の飲食業界へも波及していき、SDGsの目標達成を目指せるような展開を目指していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある。